

令和 7 年 度 水 質 検 査 計 画

水質検査とは

水質検査は、水質基準に適合し安全であることを保障するために不可欠であり、水道水の水質管理において中核をなすものです。

水質検査計画の内容

1. 基本方針
2. 水道事業の概要
3. 水道原水及び浄水の状況
4. 検査地点
5. 水質検査項目及び検査頻度
6. 水質検査方法
7. 臨時水質検査
8. 水質検査結果の公表
9. 関係者との連絡

田舎館村建設課

1. 基本方針

(1) 検査地点は、配水管の末端地区の給水栓とします。

(2) 検査項目は、水質基準項目とします。

(3) 検査頻度

- ・ 一般細菌、有機物、味、臭気及び濁度等の検査は月 1 回行います。
- ・ その他の項目については、年 1 回～4 回行います。

2. 事業概要

津軽広域水道企業団より浄水を受水し、全村に供給しております。

給水状況（令和 5 年度データ）

区 分	内 容
給 水 区 域	田舎館村内
給 水 人 口	7, 1 4 1 人
給 水 戸 数	2, 6 2 9 戸
計画 1 日最大給水量	4, 1 8 5 m ³ /日
1 日最大給水量	1, 9 5 7 m ³
1 日平均給水量	1, 7 6 0 m ³

3. 水道原水及び浄水の状況

水源の浅瀬石川ダムの貯留水は、流入河川の水質が良好であり、水質基準上大きな問題はなく現在に至っています。

しかし、令和7年3月に水質基準項目のマンガン及びその化合物が基準値を一時超過する事態が起きました。また、春先から夏にかけて、若干の異臭味物質が発生するようになっております。

今後は粉末活性炭処理設備を迅速かつ効果的に活用し、また、長期的視点での水処理方法も検討しながら浄水の水質確保に努めます。

4. 検査地点

高田地区集会施設（田舎館村大字東光寺字林元39-8）の給水栓を検査地点とします。

5. 検査項目及び検査頻度

別表のとおり

6. 水質検査方法

毎日検査は自己検査を行い、定期検査については国の登録を受けている検査機関に委託します。

水質基準項目の検査方法は、水質基準に関する省令の規定に基づく、告示に示された検査方法により行います。

7. 臨時水質検査

- 1) 水源の水質が著しく悪化したとき。
- 2) 水源に異常があったとき。
- 3) 水源、給水区域等に感染症等が流行しているとき。
- 4) 浄水処理工程に異常があったとき。
- 5) 工事による汚染等が考えられるとき。
- 6) その他必要があると認められるとき。

以上のようなときは直ちに臨時検査を行い、安全性が確認されるまで監視します。

8. 水質検査結果の公表

計画は村民に公表し、これに従って検査を行います。

また、検査結果をホームページで毎年公表いたします。

9. 関係者との連携について

水道水の水質事故が発生した場合は、津軽広域水道企業団並びに県水道担当課と連携し、現場調査及び水質検査を行います。

(別表)

検 査 項 目 及 び 検 査 頻 度

定期検査

番号	項 目	省略 の 可否	基準値 (mg/L)	過去5年間 最大値 (mg/L)	検査計画 算定頻度	検査実施頻度 (回/年)	設 定 理 由
						給 水 栓	
基 1	一般細菌	不可	100個/ml	4個/ml	1回/月	12	省略不可項目
基 2	大腸菌	不可	不検出	不検出	1回/月	12	省略不可項目
基 3	カドミウム及びその化合物		0.003	<0.0003	1回/3年	1	
基 4	水銀及びその化合物		0.0005	<0.00005	1回/3年	1	
基 5	セレン及びその化合物		0.01	<0.001	1回/3年	1	
基 6	鉛及びその化合物		0.01	<0.001	1回/3年	1	
基 7	ヒ素及びその化合物		0.01	<0.001	1回/3年	1	
基 8	六価クロム化合物		0.02	<0.005	1回/3年	1	
基 9	亜硝酸態窒素	不可	0.04	<0.004	1回/3月	4	省略不可項目
基10	シアン化物イオン及び塩化シアン	不可	0.01	<0.001	1回/3月	4	省略不可項目
基11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	不可	10	0.31	1回/3月	4	省略不可項目
基12	フッ素及びその化合物		0.8	<0.08	1回/3年	1	
基13	ホウ素及びその化合物		1.0	<0.06	1回/3年	1	
基14	四塩化炭素		0.002	<0.0002	1回/3年	1	
基15	1,4-ジオキサン		0.05	<0.005	1回/3年	1	
基16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン		0.04	<0.004	1回/3月	4	安全確認のため
基17	ジクロロメタン		0.02	<0.002	1回/3年	1	
基18	テトラクロロエチレン		0.01	<0.001	1回/3年	1	
基19	トリクロロエチレン		0.01	<0.001	1回/3年	1	
基20	ベンゼン		0.01	<0.001	1回/3年	1	
基21	塩素酸	不可	0.6	0.10	1回/3月	4	省略不可項目
基22	クロロ酢酸	不可	0.02	<0.002	1回/3月	4	省略不可項目
基23	クロロホルム	不可	0.06	0.013	1回/3月	4	省略不可項目
基24	ジクロロ酢酸	不可	0.03	0.009	1回/3月	4	省略不可項目
基25	ジブロモクロロメタン	不可	0.1	0.005	1回/3月	4	省略不可項目
基26	臭素酸	不可	0.01	<0.001	1回/3月	4	省略不可項目
基27	総トリハロメタン	不可	0.1	0.026	1回/3月	4	省略不可項目
基28	トリクロロ酢酸	不可	0.03	0.009	1回/3月	4	省略不可項目
基29	ブロモジクロロメタン	不可	0.03	0.009	1回/3月	4	省略不可項目
基30	ブロモホルム	不可	0.09	<0.001	1回/3月	4	省略不可項目
基31	ホルムアルデヒド	不可	0.08	<0.008	1回/3月	4	省略不可項目
基32	亜鉛及びその化合物		1.0	0.015	1回/3年	1	
基33	アルミニウム及びその化合物		0.2	0.01	1回/3年	1	
基34	鉄及びその化合物		0.3	0.03	1回/3年	1	
基35	銅及びその化合物		1.0	0.01	1回/3年	1	
基36	ナトリウム及びその化合物		200	9.8	1回/3年	1	
基37	マンガン及びその化合物		0.05	<0.005	1回/3年	1	
基38	塩化物イオン	不可	200	16.0	1回/月	12	省略不可項目
基39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)		300	19.4	1回/3年	1	
基40	蒸発残留物		500	63	1回/3年	1	
基41	陰イオン界面活性剤		0.2	<0.02	1回/3年	1	
基42	ジェオスミン		0.00001	0.000002	原因藻類発生時期に 1回/月	2	原因藻類発生のおそれがあるため
基43	2-メチルイソボルネオール		0.00001	<0.000001	原因藻類発生時期 に1回/月	2	原因藻類発生のおそれがあるため
基44	非イオン界面活性剤		0.02	<0.002	1回/3年	1	
基45	フェノール類		0.005	<0.0005	1回/3年	1	
基46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	不可	3	0.9	1回/月	12	省略不可項目
基47	pH値	不可	5.8～8.6	7.4	1回/月	12	省略不可項目
基48	味	不可	異常でない	異常なし	1回/月	12	省略不可項目
基49	臭気	不可	異常でない	異常なし	1回/月	12	省略不可項目
基50	色度	不可	5度	<0.5度	1回/月	12	省略不可項目
基51	濁度	不可	2度	<0.1度	1回/月	12	省略不可項目
	有機フッ素化合物(PFOS及びPFOA)		0.00005		1回/年	1	安全確認のため(基準値は暫定値)

毎日検査

番号	項 目	省略 の 可否	基準値 (mg/L)	過去5年間 最大値 (mg/L)	検査計画 算定頻度	検査実施頻度 (回/年)	設 定 理 由
						給 水 栓	
毎 1	色	不可	異常でない	異常なし	1回/日	365	省略不可項目
毎 2	濁り	不可	異常でない	異常なし	1回/日	365	省略不可項目
毎 3	消毒の残留効果	不可	0.01以上	0.63	1回/日	365	省略不可項目

検査項目・頻度・結果

定期検査

番号	項 目	省略 の 可否	基準値 (mg/L)	検査結果(mg/L)						過去5年 最大
					R01	R02	R03	R04	R05	
基1	一般細菌	不可	100個/ml	年間実施頻度 年間最大値	12 4	12 0	12 0	12 4	12 0	4
基2	大腸菌	不可	不検出	年間実施頻度 年間最大値	12 不検出	12 不検出	12 不検出	12 不検出	12 不検出	検出回数 0
基3	カドミウム及びその化合物		0.003	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.0003			1 < 0.0003		< 0.0003
基4	水銀及びその化合物		0.0005	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.00005			1 < 0.00005		< 0.00005
基5	セレン及びその化合物		0.01	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.001			1 < 0.001		< 0.001
基6	鉛及びその化合物		0.01	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.001			1 < 0.001		< 0.001
基7	ヒ素及びその化合物		0.01	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.001			1 < 0.001		< 0.001
基8	六価クロム化合物		0.02	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.005			1 < 0.005		< 0.005
基9	亜硝酸態窒素	不可	0.04	年間実施頻度 年間最大値	4 < 0.004	4 < 0.004	4 < 0.004	4 < 0.004	4 < 0.004	< 0.004
基10	シアン化物イオン及び塩化シアン	不可	0.01	年間実施頻度 年間最大値	4 < 0.001	4 < 0.001	4 < 0.001	4 < 0.001	4 < 0.001	< 0.001
基11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	不可	10	年間実施頻度 年間最大値	4 0.31	4 0.22	4 0.23	4 0.31	4 0.21	0.31
基12	フッ素及びその化合物		0.8	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.08			1 < 0.08		< 0.08
基13	ホウ素及びその化合物		1.0	年間実施頻度 年間最大値	1 0.06			1 0.06		< 0.06
基14	四塩化炭素		0.002	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.0002			1 < 0.0002		< 0.0002
基15	1,4-ジオキサン		0.05	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.005			1 < 0.005		< 0.005
基16	ジス-1,2-ジ'クロロエチン及びトリス-1,2-ジ'クロロエチン		0.04	年間実施頻度 年間最大値	4 < 0.004	4 < 0.004	4 < 0.004	4 < 0.004	4 < 0.004	< 0.004
基17	ジクロロメタン		0.02	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.002			1 < 0.002		< 0.002
基18	テトラクロロエチレン		0.01	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.001			1 < 0.001		< 0.001
基19	トリクロロエチレン		0.01	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.001			1 < 0.001		< 0.001
基20	ベンゼン		0.01	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.001			1 < 0.001		< 0.001
基21	塩素酸	不可	0.6	年間実施頻度 年間最大値	4 0.07	4 0.09	4 0.1	4 0.07	4 0.09	0.1
基22	クロロ酢酸	不可	0.02	年間実施頻度 年間最大値	4 < 0.002	4 < 0.002	4 < 0.002	4 < 0.002	4 < 0.002	< 0.002
基23	クロロホルム	不可	0.06	年間実施頻度 年間最大値	4 0.009	4 < 0.01	4 0.011	4 0.009	4 < 0.013	0.013
基24	ジクロロ酢酸	不可	0.04	年間実施頻度 年間最大値	4 0.005	4 0.009	4 0.004	4 0.005	4 0.004	0.009
基25	ジブロモクロロメタン	不可	0.1	年間実施頻度 年間最大値	4 0.004	4 0.005	4 0.004	4 0.004	4 0.004	0.005
基26	臭素酸	不可	0.01	年間実施頻度 年間最大値	4 < 0.001	4 < 0.001	4 < 0.001	4 < 0.001	4 < 0.001	< 0.001
基27	総トリハロメタン	不可	0.1	年間実施頻度 年間最大値	4 0.02	4 0.019	4 0.023	4 0.02	4 0.026	0.026
基28	トリクロロ酢酸	不可	0.2	年間実施頻度 年間最大値	4 0.008	4 0.009	4 0.008	4 0.008	4 0.009	0.009
基29	ブロモジクロロメタン	不可	0.03	年間実施頻度 年間最大値	4 0.007	4 0.007	4 0.008	4 0.007	4 0.009	0.009
基30	ブロモホルム	不可	0.09	年間実施頻度 年間最大値	4 < 0.001	4 < 0.001	4 < 0.001	4 < 0.001	4 < 0.001	< 0.001
基31	ホルムアルデヒド	不可	0.08	年間実施頻度 年間最大値	4 < 0.008	4 < 0.008	4 < 0.008	4 < 0.008	4 < 0.008	< 0.008
基32	亜鉛及びその化合物		1.0	年間実施頻度 年間最大値	1 0.015			1 0.015		0.015
基33	アルミニウム及びその化合物		0.2	年間実施頻度 年間最大値	1 0.01			1 0.01		0.01
基34	鉄及びその化合物		0.3	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.03			1 < 0.03		0.03
基35	銅及びその化合物		1.0	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.01			1 < 0.01		0.01
基36	ナトリウム及びその化合物		200	年間実施頻度 年間最大値	1 9.8			1 9.8		9.8
基37	マンガン及びその化合物		0.05	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.005			1 < 0.005		< 0.005
基38	塩化物イオン	不可	200	年間実施頻度 年間最大値	12 15.8	12 16	12 15.5	12 15.8	12 15.1	16
基39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)		300	年間実施頻度 年間最大値	1 19.4			1 19.4		19.4
基40	蒸発残留物		500	年間実施頻度 年間最大値	1 63			1 63		63
基41	陰イオン界面活性剤		0.2	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.02			1 < 0.02		< 0.02
基42	ジェオスミン		0.00001	年間実施頻度 年間最大値	2 0.000002	2 < 0.000001	2 0.000002	2 0.000002	2 < 0.000001	0.000002
基43	2-メチルイソボルネオール		0.00001	年間実施頻度 年間最大値	2 < 0.000001	2 < 0.000001	2 < 0.000001	2 < 0.000001	2 < 0.000001	< 0.000001
基44	非イオン界面活性剤		0.02	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.002			1 < 0.002		< 0.002
基45	フェノール類		0.005	年間実施頻度 年間最大値	1 < 0.0005			1 < 0.0005		< 0.0005
基46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	不可	3	年間実施頻度 年間最大値	12 0.7	12 0.9	12 0.8	12 0.7	12 0.8	0.9
基47	pH値	不可	5.8～8.6	年間実施頻度 年間最大値	12 7.2	12 7.2	12 7.4	12 7.2	12 7.2	7.4
基48	味	不可	異常でない	年間実施頻度 年間最大値	12 異常なし	12 異常なし	12 異常なし	12 異常なし	12 異常なし	異常回数 0
基49	臭気	不可	異常でない	年間実施頻度 年間最大値	12 異常なし	12 異常なし	12 異常なし	12 異常なし	12 異常なし	異常回数 0
基50	色度	不可	5	年間実施頻度 年間最大値	12 < 0.5	12 0.4	12 < 0.5	12 < 0.5	12 < 0.5	< 0.5
基51	濁度	不可	2	年間実施頻度 年間最大値	12 < 0.005	12 0.1	12 0.1	12 < 0.005	12 < 0.1	< 0.1

毎日検査

番号	項 目	省略 の 可否	基準値 (mg/L)	検査結果(mg/L)						過去5年 最大
					R01	R02	R03	R04	R05	
	色	不可	異常でない	年間実施頻度 年間最大値	365 異常なし	366 異常なし	365 異常なし	365 異常なし	365 異常なし	異常回数 0
	濁り	不可	異常でない	年間実施頻度 年間最大値	365 異常なし	366 異常なし	365 異常なし	365 異常なし	365 異常なし	異常回数 0
	消毒の残留効果	不可	0.01以上	年間実施頻度 年間最大値	365 0.61	366 0.63	365 0.61	365 0.63	365 0.63	0.63